

まちづくり市民懇話会

とことん懇話会

オンラインで開催!

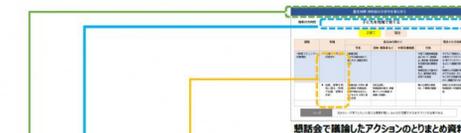
TOPICS

第16回目は、施策体系や基本計画への反映方法について共有し、これまでの議論内容と意見漏れがないか確認しました。後半は、「みんなでつくる持続可能なまち」を考えるため、木藤氏による宮崎県・油津商店街を事例とした講演をお聞きしました。



今回、これまで議論したアクションについて、取りまとめ資料をもとに、「将来像（めざすまちの姿）」を実現するため、基本目標ごとに、**個別目標**と**個別目標の方向性**を体系化し、お示しました。

▼施策体系の整理イメージ



基本目標	個別目標	個別目標の方向性
1. 住みやすさ・暮らしやすさを高めること	1-1. 住みやすさ・暮らしやすさを高めること	住みやすさ・暮らしやすさを高めること
2. 経済活性化・雇用創出を図ること	2-1. 経済活性化・雇用創出を図ること	経済活性化・雇用創出を図ること
3. 環境・文化・観光の魅力を高めること	3-1. 環境・文化・観光の魅力を高めること	環境・文化・観光の魅力を高めること
4. 防災・減災・危機管理の体制を整えること	4-1. 防災・減災・危機管理の体制を整えること	防災・減災・危機管理の体制を整えること
5. 地域コミュニティの活性化を図ること	5-1. 地域コミュニティの活性化を図ること	地域コミュニティの活性化を図ること
6. 高齢者の生活の質を高めること	6-1. 高齢者の生活の質を高めること	高齢者の生活の質を高めること
7. 子育て支援の体制を整えること	7-1. 子育て支援の体制を整えること	子育て支援の体制を整えること
8. 若者の就業支援の体制を整えること	8-1. 若者の就業支援の体制を整えること	若者の就業支援の体制を整えること
9. 外国人労働者の受け入れ体制を整えること	9-1. 外国人労働者の受け入れ体制を整えること	外国人労働者の受け入れ体制を整えること
10. 防災・減災・危機管理の体制を整えること	10-1. 防災・減災・危機管理の体制を整えること	防災・減災・危機管理の体制を整えること



とことん1

到達目標 具体的なアクションと基本計画への反映について、確認・議論しましょう

今回はテーマ別に6つのグループに分かれ、これまでの議論の内容がどのように反映されているか確認するとともに、意見の漏れがないか確認しました。

また、基本目標を達成する上で懇話会での議論がないものについても、どのような方向性が必要か、あわせて確認意見交換しました。

■ 開催概要

- 第16回：令和3年 10月17日（日）
場 所：オンライン+市役所（臨時オンライン会場）
参 加 者：市 民：現地オンライン 5名 オンライン 11名
若手職員：現地オンライン 6名
桃山学院大学 岩田 考先生、学生3名
議 題：1. 具体的なアクションと基本計画への反映について
2. 『みんなでつくる持続可能なまち』について
3. 次回に向けて

とことん2

到達目標 地域づくりや協働に関する講演を聞いて、『みんなでつくる持続可能なまち』について考えましょう

地域づくりや協働に関する取組を実践されている木藤亮太氏をお呼びし、「自分たちのまちは自分たちでつくる」をテーマにご講演いただきました。



○宮崎県日南市油津商店街の取組

若者たちを始め地元の人たちが自らのアイデアでどんどんチャレンジしようと思い始めたこと。油津商店街に行けば、やりたいことが実現する。そういうわくわくするような空気が、商店街再生の大きな原動力になっている。

○取組のポイント

- まずは、商店街の一角にあった空き店舗をカフェとして再生し、地域の人が集える場を創出。木藤氏が借金をして開店に取組むことで、地域の人の見る目も変わってくる。
- まちづくり会社を立ち上げ、銀行から融資を受けて、官民協働で空き店舗の改修事業に取組む。民間もリスクを負って取り組むことで、市民からの出資が集まる。
- 店舗が改修され、経営者が必要となってくる。30～40代の地元の若者から起業家の卵を探して、支援しながらお店をつくっていく。熱い想いと覚悟（リスク・借金）を持った取組が地域の盛り上がりにつながる。
- ずっと人がいるまちにするために、東京のIT企業を誘致。「若者がチャレンジするまち」というブランディングが企業を呼び込み12の企業が立地（東京資本、100人近くが商店街で働いている）。
- 一番のポイントは、「株式会社油津応援団」を設立し、自走する仕組みをつくっていること。家賃収入や視察の受け入れなどで、年間4～5千万円を売上、人を雇いながら、持続的に取り組みを展開。
- まちの活性化は、「一人ひとりが課題意識をもって考え、動くこと」が継続的に起こり得るまちになることが大事。チャレンジの連鎖、応援の連鎖が起き続けていることで、まちが変わったように見えている。

とことん3

懇話会後の参加市民・若手職員からの感想です



- 話し合いの場いろいろな方の意見が出され、議論する場がこれからは必要だと思いました。
- まちづくりのきっかけは行政主導でも、老若男女問わずまちで暮らす人々の意見やコミュニケーションを通して行うことがとても重要であると思いました。
- 油津商店街は「一人ひとりが課題意識を持って考え、行動すること」で自走できたと思います。岸和田市をどうしていくべきなのか具体的にイメージできました。



など

■ 今後の予定

- 【第17回】 令和3年 10月 31日（日） ➡ 自分の活動を通して協働について考える ※書面開催
【第18回】 令和3年 11月 14日（日） ➡ 協働の仕組みについて整理
【第19回】 令和3年 11月 28日（日） ➡ 協働の視点を持ち、アクションについて考える

お問い合わせ：岸和田市役所 総合政策部企画課 政策担当 (tel. 072-423-9492)